

よりよい社会づくりのお役に立てるよう、 CSR活動に取り組んでいます

「環境」「患者さま」「顧客」「社員」「地域社会」「株主」。6つの領域でCSR活動を進めています。2018年度の活動成果を領域別にご報告いたします。

1 環境のために

社員ひとりひとりが自覚を持って、 エコアクトに取り組んでいます

環境保全は現代社会の大きな課題であり、企業も積極的に力を尽くすことを求められています。社員各自ができることから、省エネルギーやCO₂排出抑制に取り組んでいます。

エネルギーと廃棄物の削減を通して 環境保全に取り組んでいます

マテリアルフローを継続して把握しています

東邦ホールディングスは、事業活動を通してさまざまなエネルギーや水資源、製品、資材を使い（インプット）、その結果としてCO₂や汚水、廃棄物を排出しています（アウトプット）。この流れを「マテリアルフロー」（p17）といいます。環境負荷低減への取り組みを効果的に進めるためにマテリアルフローを継続的に把握しています。

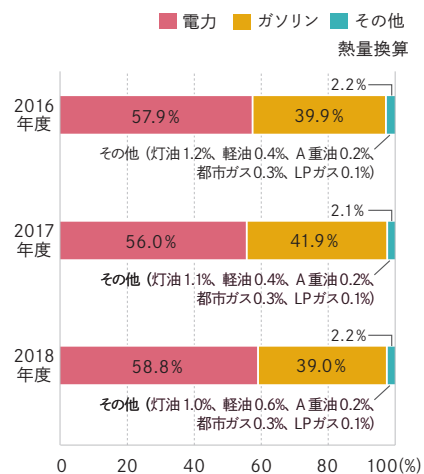
使用エネルギーの95%以上が電力とガソリンです

東邦ホールディングス（株）および東邦薬品（株）が使用したエネルギーは、電力とガソリンで占められています。ガソリン使用量が減る一方で、電力使用量が増加しています。今後は、各種エネルギーを効率よく使うための設備の見直しや車両の導入を検討してまいります。

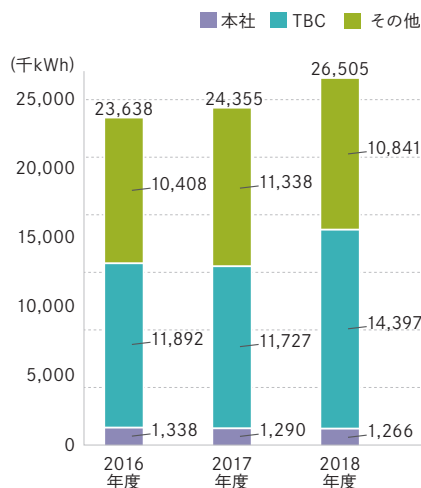
電力使用量の削減に努めています

東邦ホールディングス（株）および東邦薬品（株）の2018年度における電力使用量は、前年比で8.8%増加しました。本社は1.9%、その他は4.4%減少しました。その他とは営業部

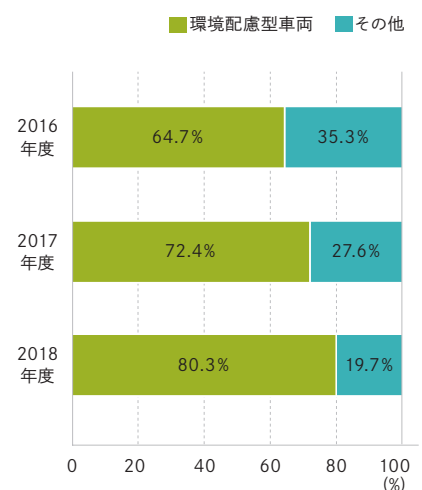
エネルギー使用比率 ⑧



電力使用量 ⑧



環境配慮型車両の導入比率 ⑧



一部の事業所で使用量の再集計を行ったため、2017年度のデータを遡及修正しています

や営業所などの建物を指します。一方、TBCは「TBC広島」の新設が影響して22.8%増加しました。

環境配慮型車両への転換に努めています

ガソリンと軽油はおもに営業車両の燃料として使用されています。東邦ホールディングス(株)および東邦薬品(株)では、低公害・低燃費の環境配慮型車両への転換に努めてきました。両社における2017年度国土交通省認定の低排出ガス車(☆☆☆☆=有害物質75%低減レベル)の占める割合は80.3%です。いわゆるエコカー(ハイブリッド車など)は、環境配慮型車両のうち、2.4%です。

限りある水資源を大切にします

わたしたちの事業活動における水の用途は、トイレなどの生活水のほか、環境美化目的、飲料、一部施設の加湿機能付き空調に限られています。製造業のように上水と下水の量が大幅に異なることはありません。東邦ホールディングス(株)と東邦薬品(株)の2018年度の水道使用量は、前年度を大きく上回りました。新設工事における漏水などが原因です。水の大切さへの理解を深めていきます。

廃棄物の削減に取り組みます

産業廃棄物とは、事業活動にともなう排出物のうち、廃棄物処理法で規定されたものです。そのうち人の健康または生活環境にかかわる被害を生ずるおそれがあるものが「特別管理産業廃棄物」として、とくに厳しく管理することが求められています。

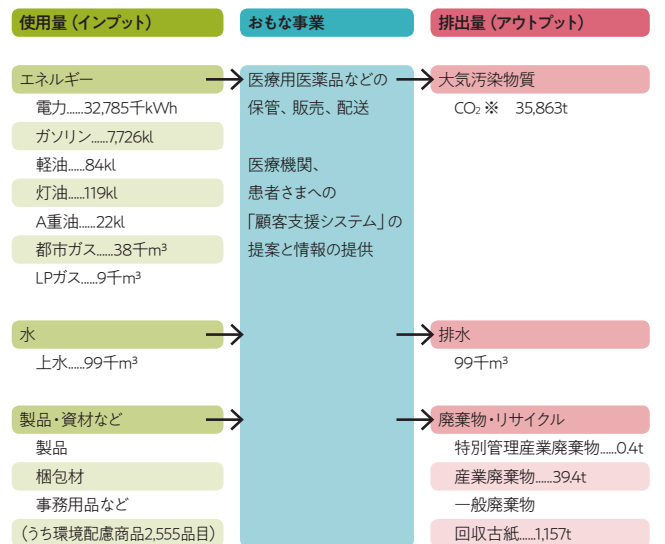
2018年度は産業廃棄物総量が前年比40.7%増加しました。旧「TBC岡山」の営業所転用工事によって、金属くずが大量に廃棄されました。今後、よりいっそう削減に努めます。またTBCや事業所においては、古紙回収(医薬品の段ボール箱

などの有価物化)に意欲的に取り組んでいます。2018年度は1,157 tでした。

環境配慮商品を大切に使用します

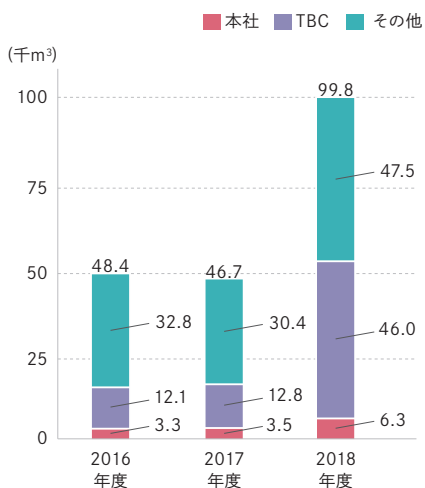
東邦ホールディングスでは、事務用品などの消耗品について「カウネット」を利用し、グリーン購入法適合商品や環境負荷の低い商品を積極的に購入しています。近年、環境配慮商品の購入数量比率は減少傾向にありますが、全社的なコスト削減活動によって、消耗品の購入数量が減少した結果です。環境負荷の低い消耗品を大切に長く使い続ける傾向も見られます。なお、東邦薬品(株)とグループ各社では、情報端末「ENIF」を活用して、カウネットの環境配慮商品を手軽に購入する仕組みを医療機関へ提案しています。

東邦ホールディングスのマテリアルフロー(2018年度) ①



※CO₂排出量の算定にあたっては、地球温暖化対策推進法に基づく排出係数を用いています

水道使用量 ②



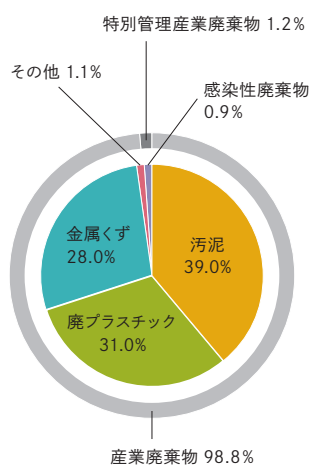
対象組織

①: 東邦ホールディングス(株)、東邦薬品(株)、(株)セイエル、(株)幸耀、九州東邦(株)、沖縄東邦(株)、(株)東邦システムサービス、ファーマクラスター(株)

②: 東邦ホールディングス(株)、東邦薬品(株)

③: 東邦ホールディングス(株)、東邦薬品(株)、九州東邦(株)、ファーマクラスター(株)、(株)ユース

産業廃棄物排出量構成比(2018年度) ③



カウネット購入数量構成比 ④

